

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例5

< 事例概要 >

- ・ 40歳代、心房細動に対し経皮的カテーテル心筋焼灼術予定の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（イオパミロン）。CT検査室で発症。
- ・ 過去に造影剤を使用し、アレルギー症状の出現無。
- ・ 造影剤注入から4分後、嘔気が出現。初発症状を認めた直後、唾液様のものを嘔吐、不穏状態となり、医師へ連絡。顔面蒼白、冷汗も認めた。2分後、緊急コール。3分後、血圧測定不能となり、心肺蘇生を開始。4分後、アドレナリン0.5 mgを筋肉内注射。救急処置を実施するが、翌日に死亡。